

Young Scientists Symposium

第6回 ヤング・サイエンティスト・シンポジウム 日本のアカデミアシーズを世界へ —事例に学ぶ産学連携—

ヤング・サイエンティスト・シンポジウムは、米国研究製薬工業協会（PhRMA）が実施する創薬分野の人材育成プログラムの一つです。第6回目となる今回は、国立研究開発法人 日本医療研究開発機構（AMED）を会場として開催致します。第1回目からの「産・官・学それぞれの視点から若手研究者にトランスレーショナルリサーチ（TR）の重要性を伝える」という基本路線を踏襲し、午前中には別会場にて希望者のみを対象とした（定員 32 名）ファイザー株式会社による特別プログラムを開催。研究意欲のさらなる向上と創薬分野で世界的に活躍できる人材育成に繋げることを目的としています。

主催：米国研究製薬工業協会（PhRMA）

後援：厚生労働省、国立研究開発法人 日本医療研究開発機構（AMED）、日本製薬工業協会（JPMA）、欧州製薬団体連合会（EFPIA）

後援申請中：文部科学省、経済産業省、独立行政法人 医薬品医療機器総合機構（PMDA）

2018年11月17日（土）9:00-18:00

詳細・参加お申込み <http://yss.umin.jp>

ヤング・サイエンティスト・シンポジウム

検索



参加無料
事前登録制
(先着 130 名)

午前

大手町ファーストスクエア カンファレンス RoomD

東京都千代田区大手町 1-5-1 ファーストスクエア イーストタワー 2F

9:00 ~

特別プログラム

※希望者のみ定員 32 名（アカデミアの方を優先してご案内させていただきます）

Pfizer 3D (Drug Discovery & Development)

ファイザー株式会社によるゲーム感覚でスクリーニングから上市までの研究開発プロセスを学ぶ体験型研修プログラム。 ※1 グループ 8 名に分かれて行います

午後

国立研究開発法人 日本医療研究開発機構（AMED）20 階 201 会議室

東京都千代田区大手町 1-7-1 読売新聞ビル

14:00 ~

第1部：講演

・モデレーター 桑原 宏哉／厚生労働省 医政局 研究開発振興課
草間 真紀子／国立研究開発法人 日本医療研究開発機構（AMED）戦略推進部脳と心の研究課 課長

血栓溶解を促進する化合物 SMTP の発見と開発（仮題）

・蓮見 恵司／東京農工大学大学院 農学研究院 教授、株式会社ティムス 取締役

日本のサイエンスを活かした創薬の可能性（仮題）

・鳥居 慎一／バイオジェン・ジャパン株式会社 代表取締役社長

革新的医療技術創出拠点プロジェクトとアカデミアシーズの実用化（仮題）

・井本 昌克／国立研究開発法人 日本医療研究開発機構（AMED）臨床研究 治験基盤事業部 部長

16:35 ~

第2部：パネルディスカッション

「アカデミアシーズを海外展開するにあたっての問題点」「人材育成について若手研究者が望むこと」など

※シンポジウム終了後、別会場にて懇親会を開催します。

お問い合わせ先

第6回ヤング・サイエンティスト・シンポジウム事務局 株式会社ジャパン・カウンセラーズ内
☎ 03-3291-0118 ✉ yss@jc-inc.co.jp

PhRMA
RESEARCH • PROGRESS • HOPE